活動事例	研究会

魅せる写真の撮り方研究会

支援先

研究会会員企業

図１　ワークショップ風景

図２　会員が撮影した写真

【背景】

笠間焼製造業界より、「コロナ禍でイベントが減り作品の売り場がない…。」「インスタグラムで PR しているけど、いまいち反応が鈍い…。」「インスタでフォロアー数が多い作家と比べると、なんとなく写真の撮り方が違う気が…。」等の声が上がっていたため、プロのカメラマンを講師に、魅せる写真の撮り方を学び、情報発信をしていく研究会を立ち上げることになりました。

【内容】

ファン獲得や作品購入の大きな動機づけとなる作品写真は、作品そのものの特徴や情報、世界観をきちんと伝えなければなりません。そのためには、まずは自分の作品の魅力を知ること、そして、それを最大限に伝える写真を撮ることが大切です。そこで、当センターでは、宇津井写真事務所の宇津井志穂氏を講師に迎え、4 回の研究会を開催しました。自分の作品撮影、グループでの他の会員の作品撮影、料理をのせた作品の撮影等を行い、各回ごとに講評会を行いました。よく撮れた写真をインスタグラムにアップし、その効果を検証しました。お互いに作品を撮り合うことで、自分も知らなかった意外な魅力が発見できたと好評でした。

【活動の成果】

同じ器の写真でも、見せ方（光・背景・小物等も使用）が変わると、印象がだいぶ変わります。（図３、４）。会員の皆さんは、各自「何のために写真を撮るのか。」「どんな人に見てもらいたいか。」という目的意識をもって撮影に挑み、インスタグラムへ投稿することでファン獲得・PR に繋げました。その結果、会員 10 社中 7 社のフォロアー数が 30%以上増加し、1 社が EC サイトでの販売を始めました。

図３：研究会参加前の写真

図４：研究会で撮影した写真

図５：実際のインスタページ

基礎となった事業	令和３年　オンリーワン技術開発支援事業（研究会）			
現在の担当グループ	陶芸人材Ｇ	グループ長	尾形　尚子	TEL:0296-72-0316
		会計年度職員	新島　佐知子	
	窯業材料Ｇ	グループ長	寺門　秀人	
		会計年度職員	小林　真弓	